

---

## 太陽光発電システム用パワーコンディショナ・ステーション2.5MWを開発 ～従来コスト比▲26%を実現～

---

東芝三菱電機産業システム株式会社(社長: 櫛原 潤一)は、国内メーカーとしては初の2.5MW級の大容量パワーコンディショナ・ステーション\*を開発いたしました。

メガソーラー用として使用されるパワーコンディショナ・ステーションは、現在は単基容量1MW級が主流ですが、共通部分を集約し、単基容量を2.5MWに引上げることにより、従来の1MW基と比較して、コスト比▲26%(当社比)を実現しました。

### パワーコンディショナ・ステーション「SOLAR WARE STATION 2.5MW」の特徴

#### 1. 大容量化を実現

メガソーラー市場においては、パワーコンディショナ・ステーションの大容量化が求められており、市場の声に応えるべく、大容量化を実現。

【SOLAR WARE STATION 2.5MW】



#### 2. コスト削減を実現

基礎ベースや筐体などを共通化することにより、従来の「SOLAR WARE STATION 1MW」と比較し、コスト費▲26%(当社比)を実現。

#### 3. システム電圧DC1000V対応機種

システム電圧DC1000Vが主流の海外メガソーラー市場での主力機種として展開していく予定。システム電圧DC600Vが主流である国内メガソーラー市場においても、DC1000V仕様の要求が高まってきており、7月から「SOLAR WARE STATION 2.5MW」の提案見積を開始。

#### 4. 国内の設置環境に適応した仕様

国内のメガソーラーは埋立地など沿岸部に設置されることが多く、パワーコンディショナ・ステーションに対しては耐塩、耐湿対策が要求される。そこでTMEiCは、アルミ製・完全密閉型・空調付を標準仕様とし、日本特有の気候や環境に合わせた「SOLAR WARE STATION シリーズ」を国内市場へ展開。

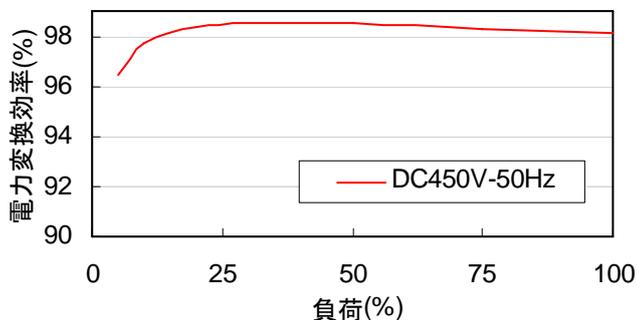
※.パワーコンディショナ・ステーション:メガソーラーで発電した直流電力を交流電力に変換する装置。

---

### 報道関係からのお問い合わせ先

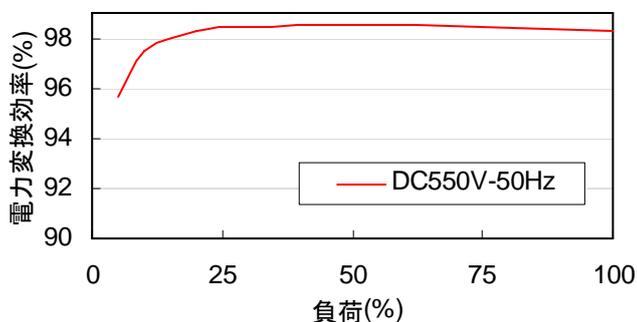
東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画部  
〒108-0073 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MTビル  
Tel: 03-5441-9140 Fax: 03-5441-9125

## ■SOLAR WARE STATION 1MW / 2MW(DC1000V 仕様)の電力変換効率



出力	電力変換効率
5%	96.4
10%	97.8
20%	98.4
30%	98.5
50%	98.5
75%	98.3
100%	98.1

## ■SOLAR WARE STATION 1.2MW / 2.5MW(DC1000V 仕様)の電力変換効率



出力	電力変換効率
5%	95.7
10%	97.5
20%	98.3
30%	98.5
50%	98.6
75%	98.5
100%	98.3

### 【SOLAR WARE STATION シリーズの概略仕様】

Type		SOLAR WARE STATION 1M	SOLAR WARE STATION 1.2M	SOLAR WARE STATION 2M	SOLAR WARE STATION 2.5M
直流入力	最大電力	1238kW	1542kW	2476kW	3084kW
	最大電圧	1000V	1000V	1000V	1000V
	MPPT動作電圧	450V - 950V	550V - 950V	450V - 950V	550V - 950V
	定格電圧	550V	650V	550V	650V
	入力回路	16入力	16入力	16入力	16入力
交流出力	定格電力	1000kW	1260kW	2000kW	2520kW
	最大電力	1200kW	1512kW	2400kW	3024kW
	定格電圧	300V	380V	300V	380V
	定格周波数	50Hz / 60Hz			
	相数	3相3線			
	力率	0.99以上(力率制御機能付 : 0.85~設定可)			
変換効率	高調波電流含有率	総合5%, 各次3%			
	最大電力変換効率	98.50%	98.60%	98.50%	98.60%
一般項目	欧州変換効率	98.30%	98.30%	98.30%	98.30%
	設置場所	IP44 (屋外)			
	冷却方式	空調機冷却			

※. リリースに記載されている内容はすべて、2012年6月現在の実績です。